

おおこうち内科クリニック

院長 大河内 昌弘 先生

ご略歴

- 平成 2 年 3 月 名古屋市立大学医学部卒業
 - 平成 2 年 4 月 名古屋市立大学第一内科入局
 - 平成 2 ～ 3 年 名古屋市立大学病院研修医
 - 平成 3 ～ 10 年 愛知県公立尾陽病院内科医
 - 平成 10 ～ 15 年 名古屋市立大学病院臨床研究医、または、研究員
 - 平成 15 ～ 17 年 アメリカルイジアナ州立大学生理学教室 Research Fellow
 - 平成 18 ～ 19 年 名古屋市立大学病院臨床研究医
 - 平成 19 年～ 厚生連尾西病院内分泌代謝科部長
 - 平成 22 年～ 名古屋市立大学消化器代謝内科学 臨床准教授
 - 平成 24 年 10 月～おおこうち内科クリニック開院
- <学会関係> 日本糖尿病学会専門医、日本内科学会専門医、
日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化器病学会専門医、平成 15 年：学位取得



社内研修資料

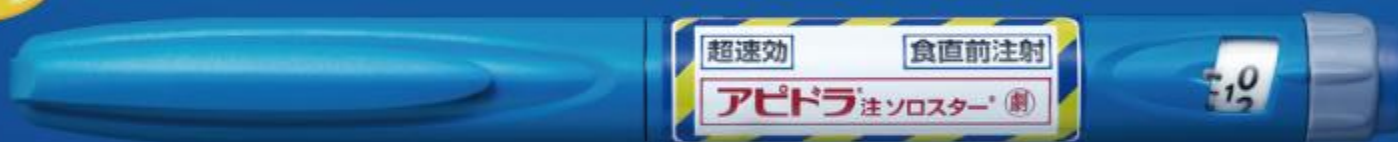
禁コピー 禁配布

SANOFI DIABETES 

APIDRA®

アピドラ注ソロスターは、 患者さんの利便性向上を目指して、 スカイブルーに変更しました。

NEW



コメント

間違いが少ないので慌てていると事故につながりやすいので違いがはっきりしている方が良い

使用が薦められる患者タイプ

視力の低下、網膜症の患者さん、忙しい方
手に取った時に事故に繋がり難い

処方例

ランタスソロスターとのコンビネーションは
特に間違いが少ない

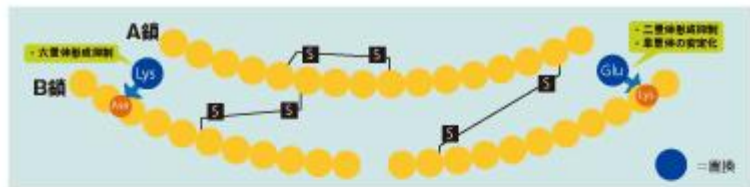
社内研修資料

禁コピー 禁配布

SANOFI DIABETES 

APIDRA[®]

特徴的な製剤設計により皮下投与後、速やかに血中に移行します



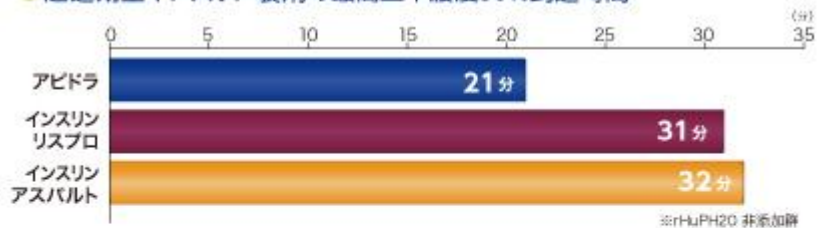
- ☑ B鎖3位のアスパラギンをリジンに置換
- ☑ B鎖29位のリジンをグルタミン酸に置換
- ☑ 「垂鉛」非存在下でも単量体として安定

製剤中における単量体の割合が多い

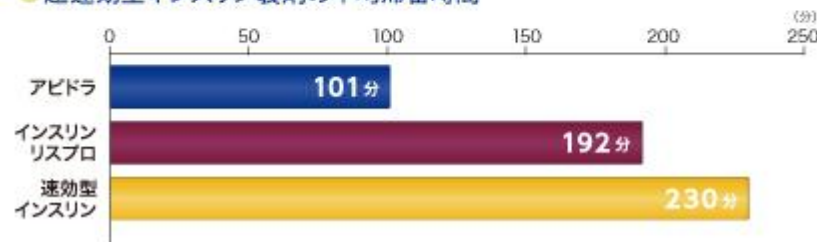


各超速効型インスリン製剤の最高血中濃度50%到達時間と平均滞留時間

● 超速効型インスリン製剤の最高血中濃度50%到達時間



● 超速効型インスリン製剤の平均滞留時間



コメント

立ち上がりが早く、早く切れるので薬剤が遷延しないので、食事前の低血糖が少なくなるので、用量調整がしやすくなる、食事前に急に効いていると低血糖が起こりやすくなるので強化療法には良い。

使用が薦められる患者タイプ

糖質の摂取が多く食後の血糖上昇が顕著な患者さん

処方例

ランタスとの強化療法をしている患者さん

生理的な追加インスリンであるアピドラに変更することにより、HbA1cを改善しました



コメント

同単位のインスリンで早く切れる事で食前の一番下がり過ぎる所で、低血糖を起こしづらいところで切れることがアピドラのメリットになっている。

使用が薦められる患者タイプ

食前、食間に低血糖を起こし易い患者さん。

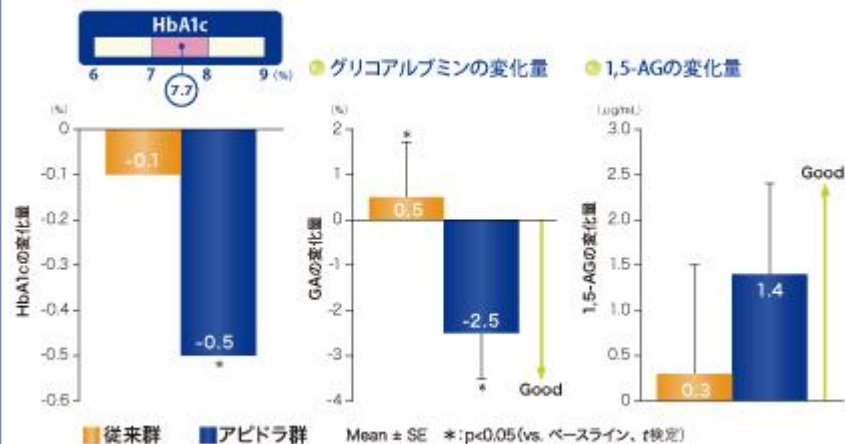
処方例

ダンピングや肝硬変の患者さん

アピドラによる治療で、 HbA1cが有意に改善しました



アピドラによる治療で、 血糖コントロールが改善しました



コメント

立ち上がりがよくて、食事の吸収にあわせてしっかり効くので食後血糖の管理がアピドラの方が出来るので、マーカールにあらわれる。

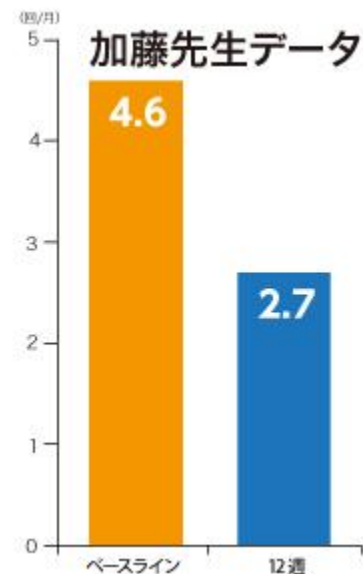
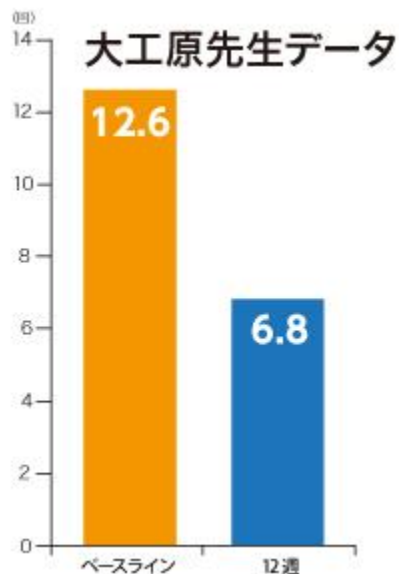
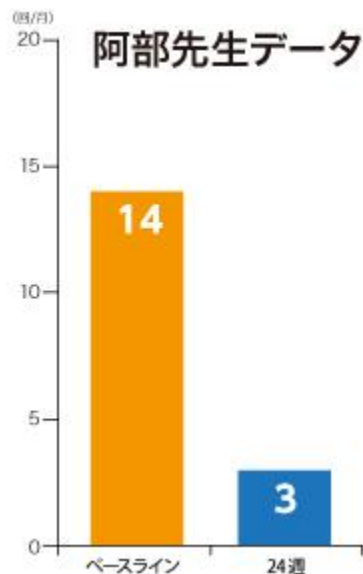
使用が薦められる患者タイプ

特に食後の血糖値が改善されにくい患者さん

処方例

ダンピングや肝硬変の患者さん

低血糖の発現頻度



コメント

立ち上がりが早くて、だだら効かない分食前に早く切れる分、低血糖が少ないことを表している。引きも早い為、いい方向に表れている。

使用が薦められる患者タイプ

強化インスリンをする患者さん

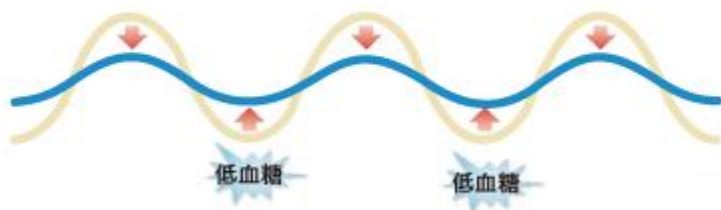
処方例

食前・食間に低血糖を起こし易い患者さん

先生方へのご提案

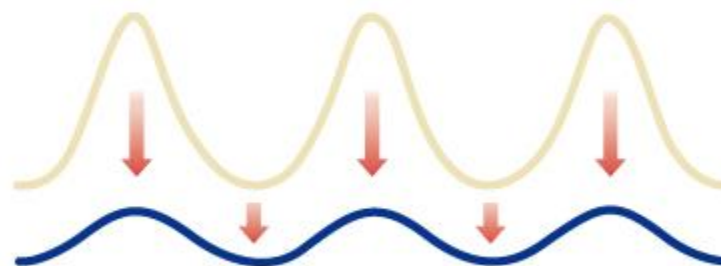
● 外来において

強化インスリン療法効果不十分例でのアピドラへの切り替え



● 入院において

強化インスリン療法レジメンへのランタス+アピドラの組み込み



コメント

同じA1cでも血糖変動が激しい場合と血糖変動が少ない場合であるので、A1cだけではなかなか糖尿病とくに食後高血糖の管理が上手いといっているとは限らず、食後の高血糖の管理が非常に大事といわれているので血糖日内変動のすくなくするためにもアピドラの様な薬剤が為になる。

使用が薦められる患者タイプ

特に血糖変動の激しい患者さん

処方例

ダンピングや肝硬変の患者さん

アピドラの使用が薦められる患者

- ✓ 血糖変動が激しくインスリン分泌が枯渇している患者さん
- ✓ 低血糖が頻回に起こる患者さん
- ✓ HbA1c のコントロールが不良で用量調節をすると直ぐに低血糖をおこす患者さん

おおこうち内科クリニック
院長 大河内 昌弘 先生

